

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
武蔵野の公園グループ		(指定管理者名) 西武・武蔵野パートナーズ			
		(団体の概要) 代表者：西武造園株式会社			
		構成員：ミズノスポーツサービス株式会社、NPO法人NPO birth、一般社団法人防災教育普及協会			
指定期間					
H28.4.1 ～ R5.3.31 (7年間)					
2 施設名		3 収支(単位：千円)			
武蔵野公園、浅間山公園、野川公園、狭山・境緑道、玉川上水緑道、武蔵国分寺公園、東伏見公園、六仙公園		項目	金額	公園別支出額	
		収入計	522,356	・武蔵野公園：95,418,651円	・武蔵国分寺公園：77,486,829円
		内指定管理料	522,356	・浅間山公園：9,164,911円	・東伏見公園：9,584,686円
		内利用料金	0	・野川公園：216,825,748円	・六仙公園：13,748,291円
		支出計	522,356	・狭山・境緑道：53,571,611円	
		収支差	0	・玉川上水緑道：46,555,273円	
4 管理運営の概要					
前期の基本理念「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を継承し、産官学民との協働により推進してきた「むさしのパークイニシアチブ」をさらに進め、新たな視点として「CHANCE IN THE PARK」を掲げることで、公園利用の可能性をさらに広げることができた。重点的に取り組む3つのチャンスは、①「より多くの人々と新たな連携を進めるチャンス」、②「公園を使ったライフスタイルやコミュニティを広げるチャンス」、③「次世代へつなぐ誇りと愛着を育むチャンス」で、チャンス①を実現するために、「はけの自然とくらしのオンラインフォーラム」を初開催し、東京都や周辺5市、企業、大学等を含む産官学民20団体が参加し、国分寺崖線の保全と活用を協働で進める新たな連携がスタートした。チャンス②を実現するために、「日常」「スポーツ」をテーマに「むさしのパークライフマガジン」を2種発行。また、スポーツコーディネーターが企画するスポーツレクリエーションイベントを各公園で開催。コロナ禍で公園利用が注目される中、様々な視点から公園を核とした新たな日常を積極的に推し進めることができた。また、チャンス③を実現するために、パークレンジャーが学校連携を強化し、年間1,036人の生徒にネイチャープログラムを提供。野川公園に隣接するアメリカンスクールに対し、英語での解説を行った他、ナラ枯れの解説動画を英語にて作成・提供した。また、ICUサービスラーニングセンターやアメリカンスクールなど、近隣学校との懇談会を実施。今後の連携に向けて、意見交換を行った。玉川上水緑道では、「玉川上水保全活用ガイドライン」の作成に着手し、東京都や市民団体と協議を行いながら、杉並区間部分を作成。緑道管理の方向性を統一することができた。					
5 管理状況(維持管理)					
1. 生物多様性の保全に配慮した維持管理の実施 武蔵野の生態系が色濃く残り、重点保全すべき生物多様性スポットを新規に3箇所追加(合計6公園15箇所)。モニタリングでは、ハラビロトンボなど新たな希少種を3種確認。希少種データベースは全部で172種となった。武蔵野公園、浅間山公園、野川公園では、東京農工大学等と連携し、ナラ枯れ病の全木調査を実施。公園全域での発生状況を把握した。また、「はけの自然とくらしフォーラム」に参加した団体や「浅間山を考える会」の構成団体をはじめ、自治体、企業、大学、市民団体など、武蔵野地域の合計25団体と情報共有。武蔵野地域全体の発生状況を一元管理し、拡大防止につなげた。浅間山公園では、「保全管理ガイドライン」に基づいた取組を継続。浅間山を考える会と協働でモニタリングを行い、キンランなど絶滅危惧種の株数と生育面積の大幅な拡大が分かった。武蔵国分寺公園では、武蔵の池再生プロジェクト第3弾として、池の大規模清掃と多自然型護岸の造成を実施。水質と水生生物の生息環境を大幅に改善し、生物多様性スポット化を実現した。 2. 安全で快適な利用を支える維持管理 公園情報を一元管理する為に独自に開発を進めてきた「パークモニタリングアプリ」の本格運用を開始。巡回時に発見した不具合や、意見情報などの写真や位置情報を現場からスマートフォンでアップロードし、管理所の責任者がパソコンからリアルタイムに確認出来るようになり、対応の迅速化に繋がった。情報を蓄積することで公園施設のデータベースを構築し、日々発生する情報を一元管理することで漏れのない迅速な対応と、修繕履歴の解析による予防保全的な対応が可能となった。その結果、利用者の安全性やアメニティを大きく向上させることができた。玉川上水緑道、狭山・境緑道では、近年の大規模気象災害を鑑み、倒木や折れ枝の被害低減を図る為に、緑道全線の樹木点検を実施し、随所で大径木の嵩下げを行い、利用者や近隣住民の方々が安心、安全に過ごせる緑道環境を提供した。					
6 利用者アンケート結果					
実施方法：					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
武蔵野公園	4.8	4.6	4.4	4.5	4.6
浅間山公園	4.6	4.3	4.2	4.3	4.7
野川公園	4.8	4.5	4.6	4.6	4.6
狭山・境緑道	4.4	4.3	4.2	4.0	4.2
玉川上水緑道	4.6	4.1	4.3	4.1	4.5
武蔵国分寺公園	4.7	4.6	4.5	4.4	4.5
東伏見公園	4.6	4.3	4.7	4.4	4.3
六仙公園	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3
7 入園者数の状況(単位：人)					
施設名	当該年度	分析			
武蔵野公園	788,806	コロナ禍でも安心して利用できる公園として、感染症予防対策を徹底したことが利用者増に反映された。			
浅間山公園	177,700	コロナ禍でレジャー施設が閉鎖される中、公園の豊かな自然環境やオープンスペースが見直され、利用者が増加した。			
野川公園	2,667,565	コロナ禍で水遊び場を中止している施設が多い中、湧き水広場や野川での川遊びを目的とした利用者が多く来園した。			
狭山・境緑道	1,680,866	コロナ禍でランニング利用が増加したが、利用頻度(回転数)が30.5から9.8に改訂され、大幅な減少となった。			
玉川上水緑道	1,296,771	散歩など健康維持の為に運動利用の増加、利用頻度(回転数)が10.8から14.6に改訂したことが利用者増となった。			
武蔵国分寺公園	1,071,079	コロナ禍において日常の利用者数は増加傾向にあるが、大型イベントの中止に伴い年間の利用者数は減少した。			
東伏見公園	1,400,314	コロナ禍でレジャー施設が閉鎖される中、身近なオープンスペースである公園の家族利用が増加した。			
六仙公園	363,538	近隣住民の健康維持の為に運動利用が増加した。健康遊具の利用頻度も高く、賑わいをみせていた。			
合計	9,446,639				

都立武蔵野公園

所在地：小金井市、府中市
開園面積：25.6ha



< マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >

- ・ 民間活力の導入による新たな魅力を持った都立公園
- ・ 地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・ 東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・ 多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・ スポーツによる健康づくりの場となる都立公園

公園特性

- 春には、**約40種・600本のサクラ**が園内を彩る。
 - ▶ 自由に散策ができる園場がある
 - ▶ 桜マップの配布
- 苗圃では様々な木々が見られる。
- 武蔵野の**原風景を感じさせる風情**が残る。
- 古くから**地域活動の拠点**として親しまれている。
 - ▶ はらっぱ祭り／わんぱく夏まつり等
- **武蔵野本来の林床生態系**が残る。
 - ▶ ニリンソウ群生地

ポテンシャル
分析

テーマ

武蔵野の面影が残る
多種の桜と苗圃がある公園

地域特性

- 園内中央には野川が流れ、北側には調整池を挟み**国分寺崖線が残る**。
- 「武蔵野夫人」等多くの**文学の舞台となった「はけの道」が北側に位置する**。
- はけの**地域特性を活かした、地域活動**が盛ん。
 - ▶ はけのおいしい朝市
 - ▶ 地域情報雑誌「き・まま」

ALL
Parks

全公園で
展開した事業

3
Parks

管理所のある3公園で
実施した事業

With
コロナ

新型コロナウイルス感染拡大
防止対策として実施した事業

新型コロナウイルス感染症対策を徹底！

1 誰もが安心して楽しめる公園へ！

ALL
Parks

With
コロナ

新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が春期、冬期に発令。来園者の不安が募るなか、様々な工夫により**安心して公園を利用できる取組**を行った。

新たな公園ルールをわかりやすく掲示

- ▶ ピクトグラムや公園にいる生き物を活かして、**わかりやすく、かつオリジナリティあるデザイン**で、新たな公園ルールを周知した。



園内やHPに掲載した
ピクトグラムを使用したデザイン



アオダシヨウの抜け殻を
利用して距離を確保

活動ルールを定めボランティアを再開

- ▶ 活動再開前には**安全対策意識の共有**を図り、新しいルールのもとでボランティア活動をスムーズに開始。



活動に関わる注意事項と
体調・活動のチェックシートを作成・配布



ボランティアミーティングで
安全対策意識を共有

コロナ禍における公園、地域の価値を発信

- ▶ 「**むさしのパークライフマガジン**」を発行。テーマを「日常」「スポーツ」として、コロナ禍での公園の楽しみ方を発信！
- ▶ 「**むさしの公園周辺ガイド**」を発行し武蔵野地域の自然環境や自然の魅力を発信、コロナ禍における**マイクロツーリズム**を促進！



むさしの公園周辺ガイド 5,000部発行



むさしのパークライフマガジン第13号 6,000部発行

園内感染防止の取組を実施

- ▶ 管理所には**飛沫防止シート**を設置。園内ルールを徹底するため、特に利用の多い公園では**警備員による特別巡回**を実施し、利用者が安心できる施設を提供。



管理事務所窓口にて飛沫防止シートを設置



警備員による特別巡回

都民の健康増進とオリンピック・パラリンピックの気運醸成への取組

2

感染症防止対策を万全に「チャレンジキャラバン」を開催！

3 Parks With コロナ

3-②No.40,44,46,50,69,70,72 16-No.20,23,24,31

スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」は、健康チェックシートの記入、検温、手指消毒等の対策を徹底し、安心して参加できるスポーツイベントとして実施。合計480人が参加し、東京2020大会の気運を醸成！



フライングディスクチャレンジ

- ▶ 障害者スポーツ「フライングディスク」を実施。視覚障害者の立場になり、目を塞いでチャレンジした。



リングに10回投げて通過回数を競う「アキュラシー」
(武蔵野公園)

ポッチャ展示コーナー

- ▶ 国分寺市スポーツ振興課、東京都障害者スポーツ協会と連携し、ポッチャ展示コーナーを設置。パラスポーツをPRした。



ポッチャ競技用具、パネル、タペストリーを展示
(武蔵国分寺公園)

トップアスリート走り方教室

- ▶ 陸上競技で全国大会優勝経験のある講師を招いて初開催。より専門的かつ実践的な内容が、子ども達に大好評！



トップアスリートが子ども達に直接指導
(野川公園)

利用者の怪我を防止するグラウンド整備

3

3年間の計画的な野球場整備により良好なグラウンドコンディションを継続

3-③No.11 16-No.2,14

- ▶ H30～R1年度の排水不良改善とグラウンドメンテナンス機械化に続き、第3回整備（R2）でクレイ舗装と芝の不陸解消、区切りの明確化を行った。これにより、利用者の安全面が各段に向上した。



芝の剥ぎ取り状況



クレイと芝の不陸解消前

クレイと芝の不陸解消後

美しく風格のある景観づくり

4

ヤギ除草による国分寺崖線の植生管理

3-③No.36、3-③No.15,16,17 16-No.5,23

- ▶ 国分寺崖線の斜面地において、繁茂する外来種やツル植物の除草をヤギを活用して実施。
▶ 本来、斜面地に生息するヤギを活用することで、安全かつ効率的な斜面地の促成管理が実現！



斜面地に生息するヤギの生態を活かした除草



ヤギと子ども達の触れ合いの場にもなった

ユニバーサル情報の発信

5

点字パンフレットの無料レンタル開始！視覚障害者とユニバーサル研修を実施！

3 Parks

3-②No.21 16-No.21

- ▶ 武蔵野公園、野川公園、武蔵国分寺公園の3拠点にて点字パンフレットの無料レンタルを開始。
▶ 全9施設にて、チラシ配布、HP、Webラジオ等のPRを実施し、利用を呼びかけた。



3公園の点字パンフレット



視覚障害者と介助者同席のもとオンライン研修

- ▶ PRに協力いただいた団体の視覚障害者とオンライン形式でユニバーサル研修を実施し、公園利用におけるニーズや課題を共有。

その他の取組

- ・夏季夜間/年末年始巡回の実施
- ・防災学習会・ユニバーサル研修
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークスキャン&ランド・スケープパトロールの実施
- など

武蔵野地域の魅力発信

6

タブレットガイド運用開始！

3 Parks

3-③No.23,24,64 16-No.21,23

- ▶ 「むさしの生きもの図鑑」をアプリ化し、タブレットで運用開始。
▶ 武蔵野公園、野川公園、自然観察センター、武蔵国分寺公園の4拠点にて運用。
▶ デジタルツールの特性を活かし、鳥やセミの鳴声が聞けるようにプログラミングした。学校対応等でも活用！



タブレットの活用で非接触での案内が可能に



デジタルの特性を活かした「むさしの生きもの図鑑」



都立浅間山公園

所在地：府中市
開園面積：8.8ha

< マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >

- ・ 東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・ 多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園

公園特性

- 全国で唯一のムササビノキスゲの自生地である他武蔵野の面影を残す動植物が豊か。
- 公園懇談会「浅間山を考える会」を定期開催。市民団体や自治体、大学等で構成。
- 浅間神社、おみたらし神社、人見四郎の墓跡、富士見百景などの歴史的文化資産がある。
- 毎日の散歩に訪れる利用者のほか、花の見ごろの時期には遠方より来園するナチュラリストも多い。

ポテンシャル
分析

テーマ

武蔵野の生物多様性の
保全モデル

地域特性

- 多摩の台地が古多摩川等で削られ、残った小高い丘が浅間山となった。
- 公園東側に隣接した多磨霊園、近隣の府中の森公園、東京農工大学の緑地がある。
- 近隣に保育園、小学校や高校、大学があり、環境教育の場として活用されている。

公園の魅力や自然の豊かさを多くの方に伝え、広域で自然環境保全を図る取組

1 専門家など地域連携によりナラ枯れ病発生状況の全容把握！

ALL Parks

3-②No.3,31、3-③No.15,20 16-No.4,21,22,30

東京都などで急速に拡大したナラ枯れ病対策として、東京農工大学など地域の団体と連携した拡散防止とモニタリング、普及啓発を実施。公園周辺の発生状況を把握し、感染拡大防止に役立てることができた。

【ナラ枯れ病】

大きさ約5mmの昆虫カシノナガクイムシが大量に侵入し、病原菌を媒介することで、木々が枯死する樹病。クヌギやコナラなどのブナ科の樹木が感染する。

ナラ枯れ発生状況の調査

- ▶ 「浅間山を考える会」、「はけの自然と暮らしのオンラインフォーラム」に参加した合計30団体の自治体、企業、大学、市民団体と情報共有。
- ▶ 東京農工大学と連携し、ブナ科樹木の全木調査を実施。

浅間山公園：1,800本、野川公園：約1,000本、武蔵野公園：約160本



感染拡大防止

- ▶ 被害の大きい樹木にペットボトルトラップなどを設置。
- ▶ 原因となる昆虫を大量に捕獲し、感染拡大防止を図った。



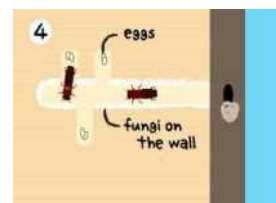
感染拡大を防ぐトラップの設置



カシノナガクイムシ

普及啓発

- ▶ パークレンジャーがナラ枯れ病の解説動画をウェブサイトで公開。
- ▶ 野川公園では、インターナショナルスクール向けに英語動画も公開。



ナラ枯れのメカニズムと被害状況を英語で解説



東京農工大学と連携して樹木をすべて調査



「浅間山を考える会」にて現地確認会を実施

地域連携で多様なニーズのボランティア機会を創出し、生物多様性を向上させる取組

2 ガイドラインの実践運用により、絶滅危惧種が大幅に増加！

3-②No.3,31、3-③No.15,16,18,20 16-No.5,6,22,24,25,30

ガイドラインに基づいた保全管理

▶「浅間山を考える会」と協働で策定した保全管理ガイドラインに沿って、地域企業や市民団体などと連携した保全管理を継続。

【浅間山公園保全管理ガイドライン】

浅間山公園で活動するすべての人々が、共通目標を持って活動に取り組むために必要な技術的指針。



浅間山を考える会にて、モニタリング結果を報告

「浅間山を考える会」構成団体

- ・浅間山自然保護会
- ・府中野鳥クラブ
- ・浅間山ウォーキングクラブ
- ・東京農工大学植生管理学研究室
- ・府中市生活環境部環境政策課
- ・府中市都市整備部公園緑地課
- ・東京都建設局西部公園緑地事務所
- ・西武・武蔵野パートナーズ

絶滅危惧種が大幅増加！

- ▶浅間山を象徴する植物12種を選び、全山の分布と株数を調査して保全管理成果を検証する、3年に1度の植物調査を実施。
- ▶ガイドラインに基づいた継続的な取組により、全山の雑木林環境が大幅に改善したことにより、12種すべての分布域が拡大。
- ▶「浅間山を考える会」でモニタリング結果を共有。保全管理計画に反映し、順応的管理が実現。



GISで解析したキンランの分布の変化



キンランの株数推移



ヤマユリの株数推移

環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

3 野鳥観察マナーアップキャンペーンを都立13公園で連携開催！ ALL Parks

3-②No.9,17,24 16-No.20,21,22

野鳥観察のピークを迎える冬期に、恒例の普及啓発イベントを継続。野鳥観察のマナーや他の来園者への配慮などを広く呼びかけるため、狭山丘陵の都立公園グループと同時開催し、全13公園で横断的に実施。

マナーアップの気運醸成

- ▶のぼりとポスター、リーフレットや缶バッジの配布などでマナーを守った観察をする気運を醸成。



のぼりやポスターによる普及啓発



マナー向上を呼び掛けるポスター

非接触型の連動イベントを多数実施！

- ▶自然情報ボードを活用した専門家連携の野鳥写真展、パークレンジャーによる多言語動画配信を実施。
- ▶モニタリングの成果を活かし、野鳥観察スポットを解説するセルフガイドプログラムを展開。



英語で自然情報を解説する動画の公開（玉川上水緑道）



野鳥観察セルフガイドプログラム（武蔵野公園）

その他の取組

- ・夏季夜間/年末年始巡回の実施
- ・犬のマナーアップキャンペーンの実施

- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施

など



都立野川公園

所在地：調布市、小金井市、三鷹市
開園面積：40.3ha

- < マネジメント目標（野川公園パークマネジメントプランより） >
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
 - ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 - ・こどもたちの健やかな成長の場となる都立公園

公園特性

- 武蔵野地域の8公園を**統括する公園**。
- 公園の前身であったゴルフ場を思わせる**大芝生**と季節の自然を楽しめる**大きな樹木群**が魅力。
- 園内には**野川**が流れ、公園北側には**国分寺崖線の斜面緑地**が隣接。
- はけの道の自然を観察できる**自然観察園と自然観察センター**がある。
- 自然観察園、自然観察センターでは、**約100名のボランティアが保全活動**を実施。

ポテンシャル分析

テーマ

ここに集まる・ここから広がる
武蔵野の自然と文化

地域特性

- 近隣に武蔵野公園、武蔵野の森公園、多摩霊園、国立天文台、国際基督教大学などの**大きな緑地が位置**する。
- 東八道路が園内を東西に横切り、西側には**西武多摩川線**が通る。
- アメリカンスクール、国際基督教大学、東京外国語大学などが近隣にあり、外国人の住民が多い。

公園の魅力向上と利用促進を図るための取組

1 はけの自然とくらしのオンラインフォーラムを産官学民で開催！

3 Parks With コロナ

3-②No.61 16-No.22,23,24,25,30

国分寺崖線沿いの緑地所有者や管理者が集まり、崖線の保全と活用を考える「**はけの自然とくらしのオンラインフォーラム**」を初開催！東京都や国分寺崖線が位置する5市を含む**産官学民20団体が参加**。コロナ禍においても国分寺崖線の保全と活用を協働で進めるための**新たな連携がスタート**した。

開催主体・参加団体

共催：西武・武蔵野パートナーズ、NPO Green Connection TOKYO、NPOグリーンネックレス

後援：東京都環境局、国分寺市

参加団体：東京都都市整備局、東京都環境局、国分寺市、小金井市、府中市、三鷹市、調布市、国際基督教大学、東京経済大学、東京農工大学、(株)SUBARU、リオン(株)、(一財)小林理学研究所、(株)地域環境計画、リュエル・スタジオ有責任事業組合、(一社)いきもの共生事業推進協議会、ガーデン紀行連絡協議会((一社)武蔵野コッソウォルズ)、NPO地域自然情報ネットワーク、都立殿ヶ谷戸庭園(東京都公園協会)、NPOめぐるまち国分寺



参加者に配布した参加者所在地一覧

参加者全員が今後の連携に期待すると回答！



参加者の様子



関係者の共通の課題として、< ①植栽の安全な維持管理、②動植物の保全、③地域との連携方法、④崖線の価値発信 > があげられた

▶**約30カ所をオンラインでつなぎ開催**。フォーラムは3部構成とし、1部では、崖線トークとして国分寺崖線の都としての位置づけ、歴史と文化、生物多様性、活用事例の4つについて**専門家から話題提供**。2部では、各参加者がガリトーク形式で、**管理・所有崖線の状況を写真等で紹介**。3部では、グループディスカッションをオンライン上で行い、**共通の課題や今後の連携について意見交換**を行った。アンケートでは、**参加者全員が、本フォーラムが連携のきっかけになると回答**し、連携への期待が高まった。今後も**継続的な交流**を行っていく。

パークレンジャーがいざなう武蔵野の自然堪能ネイチャープログラム

2 アメリカンスクールなど近隣学校との連携強化！

3-◎No.17,65,75,88 16-No.6,20,22,25

学校と協議し、**新型コロナウイルス感染症対策を徹底**しつつ、様々な手法で近隣学校との**連携を強化**した。

学校からの授業・ボランティア受入

- ▶3密対策をして**社会科学見学や校外学習**などを受け入れた。アメリカンスクールには、**パークレンジャーが英語で授業**を行った他、**保護者ボランティア**の受け入れも実現。

英語解説の動画配信

- ▶パークレンジャーが英語で公園の自然などを解説する動画を作成し、**アメリカンスクールの授業に提供**。学年問わず活用され、**学校全体の普及啓発に成功**した。

近隣学校の関係者と懇談会を開催

- ▶国際基督教大学、The American School In Japan、留学生支援団体「Glocalみたか」との**懇談会「Green Connection Mitaka」**を開催し、今後の連携に向けた情報を共有。



国際基督教大学と連携し
公園から大学生へオンライン授業を実施



全編英語の授業用動画で
公園に来られなくても普及啓発が可能になった



3密対策を徹底した懇談会の様子

武蔵野地域の魅力発信プログラム

3 武蔵野の魅力を全国に発信！ 国土交通省「ガーデンツーリズム登録制度」に登録！

3 Parks With コロナ

3-◎No.76 16-No.211,22,23,24,25

【ガーデンツーリズム登録制度（庭園間交流連携促進計画登録制度）】

全国各地の庭園間の連携や、多様な庭園の魅力の再発見を促すため、各地域固有のテーマに基づいた庭園間の「連携」に着目し、国内外へPRしていくために国土交通省が創設した登録制度。

全国で10カ所目の登録！

- ▶国土交通省が創設した「**ガーデンツーリズム登録制度**」に、指定管理者が構成団体である「むさしの・ガーデン紀行」として応募。北海道ガーデン街道などの名立たるガーデンに続き、**全国で10カ所目、東京初となる登録**が実現。

コロナ禍でも武蔵野の魅力を発信！

- ▶「ガーデンツーリズム登録制度」の事業として、「**森の地図スタンプラリー**」を**バージョンアップ**して開催。非接触型イベントとして、**アプリを用いたデジタル版**も初実施。**のべ2,376人が参加**し、「いろんな公園を回れるので、健康的で良い」「たくさんのイベントが中止になる中、やってくれて良かった」などの声を多数いただき大好評！



「全国都市緑化ひろしまフェア」での
登録証交付式に出席



制度登録証

**森の地図スタンプラリーには
のべ2,376人が参加！**



QRコードを読み込みスタンプを集める
アプリを活用したスタンプラリー

適切な維持管理を行うための取組

4 パークモニタリングアプリを活用し、安全で安心できる施設の提供へ

ALL Parks

3-◎No.2 16-No.1,2,3,4,5,6,7,14,15

公園情報を一元管理するアプリを独自開発！

- ▶施設の不具合や生きものの情報をスマートフォンで**写真や位置情報と共に蓄積し、データベース化**。園内情報を管理所と即時共有し、**早期対応、早期是正**につなげることができた。
- ▶不具合箇所や苦情要望など日々寄せられる情報を一元管理することで**漏れのない敏速な対応**ができた。蓄積された情報を分析することで**予防保全を強化**することが可能となった。



維持管理スタッフがスマートフォンで現地情報を入力



サービスセンターで
園内状況をリアルタイムで確認

その他の取組

- ・夏季夜間/年末年始巡回の実施
- ・防災学習会・ユニバーサル研修
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- など



都立狭山・境緑道

所在地：西東京市、東村山市
小平市、東大和市
開園面積：8.4ha

< マネジメント目標（狭山・境緑道パークマネジメントプランより） >
・水と緑のネットワークを形成する都立公園

公園
特性

- 多摩湖から境浄水場までの水道施設の上を走る **10.5kmの緑道**。
- 花の季節には、様々な樹種により彩りも鮮やか。
- 一方で、**近隣住民からの剪定要望への対応**等が課題である。
- **緑道ガーデンパートナー制度**により、住民による花壇づくりを促進。
- **多摩湖自転車歩行者道と並走**している。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 緑道西部は**西武線に隣接**しており、通勤通学の利用も多い。
- 夏には小平エリアにて灯籠を市民が持ち寄る「**灯りまつり**」が開催される。
- **4市にまたがって**住宅地を貫き、地域住民の憩いの空間として親しまれている。
- 都立狭山公園や東村山中央公園、小金井公園、市立の**公園緑地をつなぐ緑道**であり、ウォーキングやサイクリングの利用も多い。

テーマ

みんなでつなぐ
グリーン&ガーデンロード

適切な維持管理を行うための取組

1 ニーズや利用特性を把握し、新たな価値向上

ALL
Parks

3-②No.1、3-③No.1,12 16-No.1,2,3,4,5,14,20,24,25

ポテンシャル分析シートの見直しを実施！

- ▶ **公園特性**（上位計画、立地特性、利用状況、課題等）と**地域特性**（自然、歴史・文化、施設、活動団体等）を分析する**ポテンシャル分析シートの更新**を実施。
- ▶ 利用者から多く寄せられるご意見や、公園周辺の状況をスタッフ全員で共通認識を持ち、**ガイドライン作成に向けて情報を収集**することができた。
- ▶ 更新されたポテンシャル分析シートは**今後のパークマネジメント**に役立てる。



スタッフから出た意見を該当エリアに示す



多数の意見を分析

スタッフ全員による「パークスキャン」の実施！

- ▶ **安全、防犯、自然環境に配慮した適切な管理徹底**のため、スタッフ全員で園内を歩き、改善点の洗い出しを行った。受付スタッフも含め問題を共有し、優先順位を付けて改善を行った。



樹形が乱れ、圧迫感のあるムクゲを確認



剪定作業により改善

公園の景観診断「ランドスケープパトロール」の実施！

- ▶ 樹木医、技術士、一級造園施工管理技士が公園スタッフと景観診断を行い、**景観の向上に努める**とともに、樹木の密度や設計意図を踏まえた植栽の姿を確認した。**美しく風格のある公園としての付加価値を向上**させた。



パーゴラにツル植物を這わせ、緑のある休憩施設の創出を目指す



近接する鉄道の安全とサクラの美しい景観を共に保持するエリア

事故を未然に防ぐための安全対策

2 大径木の剪定により、安心安全な緑道を創出！

3-③No.11,27 16-No.5,13,14

予防保全の観点から隣接する鉄道施設や駅前、交差する道路付近の大径木の剪定を実施

- ▶昨今の大型台風による被害を鑑み、緑道と西武鉄道が並走するエリアにおいて、倒木等により鉄道の運用に影響が出る可能性が高い樹木の剪定を実施し、気象災害への被害低減を図った。
- ▶利用者が多い駅前や、緑道と交差している道路付近の高木剪定を実施し、折れ枝や枯れ枝の発生を予防すると共に、夜間の照度の確保など、安心して通行できる緑道空間を提供できた。



鉄道と市道に挟まれたケヤキの大径木の強剪定を実施し、台風等による倒木や折れ枝被害の低減を図った



園路の暗がりを解消したことで、安心して利用できる緑道に



都民からの要望に計画的に対応し、越境樹木の剪定を実施

パークレンジャーがいざなう武蔵野の自然堪能ネイチャープログラム

3 コロナ禍でも安全に「馬の背」の自然を普及啓発

With
コロナ

3-③No.17,24 16-No.6,20,24,25

- ▶新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント等を自粛している中、レンジャープログラムとしてセルフガイドシートを掲示・配布。
- ▶武蔵野固有の自然が残る、間合せも多い生物多様性スポット「馬の背」について、そこで見られる生きもの、馬の背の成り立ちや、生物多様性スポットとしての保全管理について普及啓発を行った。

【生物多様性スポット】

武蔵野本来の環境と生態系の保全を目的に、より力を入れて管理している場所。

セルフガイドシート
「馬の背マップ」を
掲示・配布！



セルフガイドシートを眺める来園者



配布したセルフガイドシート

市民と共に魅力あふれる緑道づくりを確立する取組

4 緑道ガーデンパートナー制度を継続運用

3-③No.5,29,31 16-No.20,22,24



ガーデンパートナーの花壇手入れの様子

【緑道ガーデンパートナー制度】

住宅や店舗が面している緑道内で、ガーデニングを希望する住民と協定を結び、適正利用を促しながら魅力ある緑道づくりを行うための制度。

- ▶各パートナーの登録更新時に、パークコーディネーターが活動の様子や要望のヒアリングを実施。グリーンアドバイザーの資格を持つスタッフが花壇づくりの相談に乗るなど、コロナ禍でも着実なサポートを続けた。

その他の取組

・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施

都民の健康増進への取組

5 晩秋の緑道でノルディックウォーキング教室！

3-③No.18,49 16-No.20,23



ノルディックウォーキングの持ち方から教室開始
(武蔵大和駅 終点広場)



緑道の景色を楽しみながらウォーキング

- ▶ポールの持ち方、正しいフォームでの歩き方をスポーツコーディネーターが丁寧に説明。
- ▶参加者からは「はじめてでしたが楽しく歩けました」「また参加したいです」などの声をいただき健康づくりに寄与した。

・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映



都立玉川上水緑道

所在地：福生市、昭島市
立川市、小平市
三鷹市、武蔵野市、杉並区
開園面積：14.7ha

< マネジメント目標（玉川上水緑道パークマネジメントプランより） >

- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園

公園特性

- 多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶ玉川上水に沿って造られた緑道で、杉並区浅間橋から福生市の平和橋までの**24.4kmが開園**されている。
- 古くから多摩・武蔵野エリアの人々に親しまれ、平成15年には、羽村取水口より下流地域が**国の史跡に指定**された。
- 一方で、**老木化した樹木対策や園路のぬかるみ対策**など、保全面と快適性の確保が課題。

ポテンシャル分析

地域特性

- 玉川上水と周辺の自然と文化を守る**市民活動が盛ん**。
- 小金井公園、井の頭恩賜公園などの公園緑地をつなぐ緑道であり、**ウォーキングの利用も多い**。
- 近隣には、小・中・高および大学が多く隣接し、JRや私鉄各線の駅が近いので、**通勤・通学のための利用が多い**。
- 小金井橋を中心とした約6kmは**小金井桜の名所**として知られ、大正13年には国の名勝指定も受けた。

テーマ

都市に潤いをもたらす
水と緑のグリーンライン

環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

1 「玉川上水緑道保全活用ガイドライン」作成に着手！杉並エリアからスタート！

3-②No. 6、3-③No.33 16-No.5,6,22,24,25

玉川上水緑道の**自然と歴史を次世代に継承し**、**安全安心に利用できるグリーンウェイ**としての価値を高めるため、**「保全活用ガイドライン」の作成に着手**。全長20km超の緑道は、**連続した水と緑のエコロジカルネットワーク**として貴重である一方、住宅や道路利用と近接しており、**利用と保全のバランスが課題**である。ガイドラインは、緑道の**関係団体等と共通認識**を持って管理を進めるための基本指針として活用していく。

関係団体と協議し、杉並区エリア版を作成

- ▶東京都の整備工事で、モニタリングや植生管理計画を策定した**コンサルティング会社「(株)愛植物設計事務所」**や、**市民団体「玉川上水すぎなみの会」**と連携し、**具体的な管理方針**を策定。
- ▶基本的な考え方を**「人とまちといきものをつなぎ、水と緑のグリーンウェイ」**として、5つの方針を策定。
- ▶杉並区エリアは道路建設により**雑木林が移植された区間**。キンランなど希少種が生息するため、道路整備後の植生管理方針を策定した**「(株)愛植物設計事務所」**の担当者、市民団体「玉川上水すぎなみの会」との**協議を実施**。
- ▶**新規開園した「旧岩通ガーデン」**には樹林と池があり、**緑の拠点**として特記ページを作成。
- ▶今後、三鷹市、武蔵野市、小平市、立川市、昭島市とエリアを区切り、順次、各エリアの特性を反映したガイドラインの策定を進めていく。

玉川上水のポテンシャルの高さを確認！



「(株)愛植物設計事務所」との現地確認

こんなガイドラインがほしかった！



20年以上保全活動を継続している「玉川上水すぎなみの会」との懇談会



保全活用ガイドラインの基本方針



杉並区エリアのゾーニングと植生管理計画

効果的な情報発信への取組

2

QRコード導入で利用者のアメニティーが向上！

ALL Parks With コロナ

3-②No.1,10,20,34 16-No.20,21

新型コロナウイルス感染症対策としてQRコードを導入。紙媒体に触れることなく、携帯電話で気軽に様々なコンテンツのダウンロードが可能になり利便性が向上！

公園マップ・バリアフリーマップ配信

- ▶3種類のマップをQRコード化し、設置したことで誰でも簡単にダウンロードが可能に！
- ▶「欲しかったマップが手軽に手に入る」との感謝の声をいただいた。



玉川上水緑道マップ

利用者に大好評

利用者満足度アンケートをQRコード化

- ▶利用者満足度アンケートをQRコード化し、利用者からの意見を対面せずに幅広く収集することができた。
- ▶利用者から気軽に意見が寄せられる新たな仕組みができた。



QRコードを用いたアンケートの呼びかけ

生物多様性を向上させるための取組

3

23区内の玉川上水保全エリアで絶滅危惧種の生息環境を創出！

3-②No.6、3-③No.15,16,33

玉川上水緑道の貴重な動植物の生息環境と移動経路を保全するため、令和2年度に新規開園した「旧岩通ガーデン」および「閉鎖管理地」にて、生息環境の創出を行った。

キンランの移植

- ▶隣接する道路建設に伴い、東京都が保護していたキンランが共生する樹木の苗を移植した。



日照と土壌の状況を見極め、苗を移植

昆虫用エコスタック

- ▶23区内では貴重なヒラタクワガタやタマムシが産卵できるよう、生きものの棲家となるエコスタックを設置した。



緑道内の伐採木を再利用したエコスタック

貴重な水辺環境の整備

- ▶アズマヒキガエル（東京都：準絶滅危惧種）の産卵前に、オタマジャクシの隠れ家として粗朶を沈床させ、生存率向上を図った。



近隣ではほとんど見られない貴重な止水環境である旧岩通ガーデンの池

適切な維持管理を行うための取組

4

利用者と住民の安全・安心を守る維持管理作業！

3-③No.11,27



電線に接近した樹木の剪定を実施。春には葉が茂り、景観が保てる

- ▶緑道全線の樹木点検を実施し、支障となる樹木の剪定を行った。電線に接近した危険な樹木や大径木化した樹木は、台風や強風に備え剪定を行い嵩下げを進めている。
- ▶今年度は165本の高木剪定を実施。住民や利用者に安心していただける緑の環境の維持に努めた。

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映

- ・パークスキャン＆ランドスケープパトロールの実施

など



都立武蔵国分寺公園

所在地：国分寺市
開園面積：11.5ha

<マネジメント目標（武蔵国分寺公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園

公園
特性

地域
特性

- 南側は、**国分寺崖線**につながる野鳥の森、木々に囲まれた広場が落ち着いた雰囲気。北側には外周500mの**円形広場**と水景施設からなる開放感のある空間が特徴。
- 国分寺の魅力再発見をテーマに、市内のカフェやギャラリー、大学等が連携して開催する**「ぶんぶんウォーク」が毎年秋に開催**され、公園がメイン会場となっている。
- 武蔵野の天平史跡群の中に位置し**、まち歩き観光者や自然散策者が多く訪れる。

ポテンシャル
分析

- 旧国鉄の「中央鉄道学園」等の跡地を整備してつくられており、周辺地域は**埋蔵文化財包蔵地に指定**されている。
- 周辺には「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの**名所、旧跡が点在**している。
- 公園周辺には集合住宅が立ち並び、**感度の高い子育て世代が多く、地域活動が盛ん**。

テーマ

歴史・文化と水のまち
“むさしのパークライフ”の提案

「あったらいいな」をみんなでつくる公園プロジェクト

1 コロナをチャンスに！新しい日常下の「あったらいいな」続々実現！ with コロナ

3-②No.10,36,58 16-No.20,21,22,23,24,30

コロナ禍においても、**公園が地域のためにできることを柔軟に検討・実施**。イベントは**動画配信などのオンライン化や3密対策**を徹底して実現した。また、**地域の生の声を聞くためのオンライン会議「がんばろう国分寺！withコロナミーティング」**を開催し、地域の方々のアイデアから新たな「あったらいいな」企画が続々実現した。公園が**新しい日常における地域活性の拠点**となった。

Sunday Park Cafe番外編



年齢問わず楽しめるワークショップは大人気！
机は家族ごとに使用するなど感染症対策を徹底

- ▶コロナ禍で活動の場を模索していた地域の**デザイナーグループとの初コラボ**が実現。園内の自然素材を活用した工作体験や**地元作家の移動美術館**が大好評！

PICNIC HEAVEN ONLINE



生配信では、公園に来れない方とコメント上でやりとりが生まれた

- ▶子育て世代応援音楽イベント「PICNIC HEAVEN」は**オンラインで実現！**地域の父親グループの協力で、過去イベントの振り返りや音楽ライブを**公園から生配信**した。

#onlineてのわ市



市民の協力により、過去イベントの様子をまとめた動画も公開

- ▶マルシェイベント「てのわ市」は**SNSを活用した企画**として実現！地元作家などの協力で、**1000を超える投稿**が「#onlineてのわ市」のハッシュタグ付きでSNSを盛り上げた。

がんばろう国分寺！withコロナミーティング

- ▶公園の呼びかけで、**20人以上の産官学民の地域の方とオンラインミーティング・ヒアリング**を行い、生まれたアイデアを実現させた。地域情報を公園から発信する**特別展示企画**では、市民団体や国分寺市などの協力で雑木林編など3企画を行った。その他、活動の場を求める市民と連携企画を行うなど、**多くの「あったらいいな」が実現**した。



オンラインミーティングの様子



特別展示を見に来たミーティング参加者

公園の魅力向上と利用促進を図るための取組

2 集まらないで分散しよう！市内80カ所をめぐるイベントが大成功！ With コロナ

3-②No.17,56 16-No.20,21,22,23,24,30

「国分寺の魅力再発見」をキーワードに10年間開催してきたイベント「ぶんぶんウォーク」は、密にならずに市内全域を巡る「ぶんさんウォーク」として実施。実行委員会にパークコーディネーターが参加し、10年かけて築いた地域連携力で柔軟に内容を検討。市内80カ所を巡るクイズラリーは大成功！

クイズラリー参加者はなんと3000人超え！

- ▶ 11日間のイベント期間中、クイズラリーやまち歩き企画、展示企画など、3密を避けて楽しめる企画が市内各所で実施された。10年間育んできた地域連携の力で、クイズラリー参加者は3000人を上回る大盛況！80カ所全てをまわった参加者は350組超え！

地域の方々と連携した公園企画は大好評！

- ▶ 公園では、感染症対策を徹底した上で、地域団体と協力した工作や絵本の読み聞かせ、パークレンジャーによるガイドウォーク等を実施。また、市民の提案によるラジオ企画「ぶんラジ！」を初開催。公園を拠点に市内各所と中継を結び、オンラインで生配信した。



ぶんぶんウォークパンフレット



クイズラリーの目印とラリーカード



ワークショップには200人以上が参加



ぶんラジで公園の魅力を発信



少人数制で行ったレンジャーガイドウォーク

公園の魅力や自然・文化の豊かさを多くの方に知ってもらう取組

3 「武蔵の池」再生プロジェクト第3弾！

3-②No.17,24

3-③No.15,16,17,18

16-No.3,6,22

有機物が蓄積しグリーンウォーター化が進んだ武蔵の池について、パークレンジャーの調整のもと、地域企業や学校とも連携しながら、水質改善や生物多様性の向上に取組み、美しく風格のある緑豊かな水辺空間を創出した。

地元企業によるプランクトン調査・分析

- ▶ 微粒子解析の専門技術を持つ「リオン株式会社」の協力のもと、グリーンウォーター化した原因を調査した。



定期的な採水し水質検査を実施



分析により確認されたプランクトン

産・学連携で生き物レスキュー

- ▶ リオン(株)と中央大学附属高校の協力で、生物調査と保護を実施。池周辺やWEB上に速報を掲示し、普及啓発を行った。



生物を保護する生物部の高校生とパークレンジャー

三面護岸の一部を改良

- ▶ 三面護岸の一部を生物が利用しやすいように自然度の高い護岸へ改良。新たに植生帯を創出し生物多様性に配慮した環境を整えた。



埋土種子発芽実験で出芽した在来種を植栽

4 マイクロツーリズムを推進！ 国分寺市と連携したワードラリー With コロナ

3-②No.17,24,74 16-No.20,21,30



QRコードから動画を読み取る参加者

- ▶ 例年のガイドウォークに代えて、公園周辺の自然と歴史を学ぶワードラリーを初開催。国分寺市との共催で、公園内外に計6つのポイントを設定し、解説パネルを設置。崖線紹介動画も作成し、YouTubeで公開した。

5 公園全体で楽しむキッズイベント！ 「あそぶの森」をリニューアル With コロナ

3-③No.7,16 16-No.20,24



特設の撮影コーナーは大人気！消毒も徹底

- ▶ キッズイベント「あそぶの森」（共催：冒険遊び場の会）は、会場を公園全域に拡大するなど3密を避けてリニューアル開催。約300人の親子が安心して参加でき、園内の落ち葉でリースを作るなど、クリスマス気分を盛り上げた。

6 整備工事に合わせ 野外スピーカー全交換 With コロナ

3-③No.11,28,39 16-No.2,13,24,32



スピーカー交換により音質・音量も改善

- ▶ 広域避難場所として情報発信力強化のため、放送機器を総点検。防災公園整備工事に合わせ野外スピーカー全11基と地下配線380mを交換した。

その他の取組

- ・コロナ禍で警備員配置
- ・バッテリー工具導入で労働衛生環境改善
- ・チャレンジキャラバンで障害者競技をPR
- ・階段補修で視認性アップ
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・案内板改修・点字パンフレット貸出開始 など

都立東伏見公園

所在地：西東京市
開園面積：5.0ha



< マネジメント目標（東伏見公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

公園特性

- のびのびと体を動かせる多目的広場が広がり、**西武鉄道を見下ろす展望の良い休憩施設**がある。
- 近隣に大きな広場を有する公園がないため、**地域の子どもたちの格好の遊び場**となっている。
- 一方で、利用者がふえ、安全管理や利用指導が課題。

ポテンシャル
分析

地域特性

- 特別緑地保全地区に指定されている**東伏見稲荷神社の森が隣接**し、緑豊かな景観を形成している。
- 公園南側には、石神井川が隣接し、**緑と水に恵まれた立地**にある。
- 公園北側には、東西の西武新宿線が隣接しており、**西武柳沢駅からのアクセスが良く**通勤通学のための通過利用も多い。

テーマ
緑と水に恵まれた
ヘルシーパーク

マナー向上のためのキャンペーン

1 犬のマナーアップキャンペーンウェブサイトを更新！

ALL
Parks

3-2@No.9,33 16-No.20,21,25

- ▶公園で愛犬と過ごす際のマナー啓発を目的とした犬のマナーアップキャンペーンウェブサイト、**専門家監修のもと大幅リニューアル**した。
- ▶「**PARK LIFE with DOGS**」をテーマにした、ウェブサイトは、キャンペーンに参加している都立公園3グループと西東京市の公園グループで共同使用することで、広域的に活用する。ウェブサイトを通じて**常時マナー向上のための啓発**が可能になった。
- ▶リニューアルに合わせて、ペットの飼い主をターゲットにしたウェブメディア「**equall LIFE**」との連携が実現。**公園の紹介記事を掲載**してもらったことで、愛犬家に広くPRできた。



通年でマナー啓発が可能に！



リニューアルしたウェブサイト

「PARK LIFE with DOGS」ウェブサイトの新たなコンテンツ

お散歩ワンポイントアドバイス

初めて公園に散歩に来る方でも安心して準備ができるよう、専門家監修のもと、公園を散歩する際の事前準備、トイレ対応、基本のマナーなどを紹介した。

愛犬との散歩におすすめの公園スポット

パークコーディネーターと専門家が幾度も意見交換を行い、実際の散歩シーンや犬種による好みの違いなど様々な角度から検討したうえで、「森の中の散策路がある公園」「水辺を歩ける公園」などのおすすめスポットを紹介した。



専門家と愛犬が実際に公園を散歩してアドバイス内容を検討した

事故を未然に防ぐための安全対策

2 土砂流出防止対策を実施！広場内の安全性と景観性が大きく向上！

3-③No.11,28 16-No.2,14

- ▶遊具広場の法面が、降雨による洗堀や法面遊び、通行利用により崩落し始め、ガラを含む土砂が子ども向け遊具の周辺に流出するようになった。ガラ等による事故を未然に防ぎ、安心して遊べる環境を提供するため、丸太土留め、人止め用の木柵を設置し、土砂流出防止、安全性の向上を図った。
- ▶土留め際に低木（オオムラサキツツジ）を列植することで、さらなる人止めの効果を図った。さらに、花木を植栽したことで景観性の向上に繋げることができた。



法面が崩落し、土砂の流出が発生



法尻に丸太土留めと低木植栽、法肩に木柵を設置

既設土留めは高さが低く、踏く恐れがあった
そのため、馬看板を踏き防止用に設置していた

危険性のあった既設土留めも併せて改修

都民の健康増進への取組

3 のびのびと公園で運動！はらっぱスポーツ教室を開催！

3-②No.16,40,44,47,49,69,70 16-No.23

- ▶幼少時期に身につけておきたい36の基本動作を楽しみながら身につけることのできる運動遊びメニューをスポーツコーディネーターが実施した。



からだをたくさん使って運動あそび



大好きなボールと追いかっこ

都民の健康増進への取組

4 おうち時間で親子で楽しめる運動あそび動画集を配信！

ALL Parks With コロナ

3-②No.16,40,44,47,49,69,70 16-No.21,23

- ▶「おうち時間」が増加している中、公園で行うプログラムに替えて自宅でも簡単に楽しく親子で遊べる動画集を配信し、健康増進に寄与した。



親子向けの自宅でできる運動遊びを多数紹介

効果的な情報発信

5 パンフレットボックス付き掲示板を新設！自然情報を始め、多くの情報を発信！

3-②No.24,25 16-No.20,21

- ▶園内1基目となる掲示板（パンフレットボックス付き）を設置した。
- ▶掲示板を設置したことで、困難だったイベント情報の発信のほか、レンジャーミニ図鑑、セルフガイドシートなどの自然情報を発信、配布することが可能に！



新設したパンフレットボックス付き掲示板



新たに配布したセルフガイドシート

6 効果的な情報発信、公共交通機関との広報連携！西武鉄道のウォーキングイベントと連携！

3-②No.26,78 16-No.20,21,25

- ▶西武鉄道のウォーキングイベント「東伏見稲荷神社フリー散策！」に約1,700人が参加。
- ▶スタート地点で、公園パンフレットを500部配布。
- ▶大好評を得て、多くの方に公園の魅力を発信することができた。



公園パンフレットは参加者に好評



公園内を散策する参加者の様子

その他の取組

- ・野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映

- ・パークスキャン＆ランドスケープパトロールの実施

など



都立六仙公園

所在地：東久留米市
開園面積：5.0ha

- < マネジメント目標（六仙公園パークマネジメントプランより） >
- ・ 地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・ 東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園

公園特性

- 芝生広場、みはらし広場等の原っぱと運動広場や健康遊具が設置された健康づくりゾーン、地下水が気持ち良い水景施設等が整備されている。
- 花壇ボランティアの活動による花壇の花々が来園者を温かく迎えている。
- 市民企画のイベント関係による地域の人々のコミュニティが再構築されつつある。

ポテンシャル分析

テーマ

湧き出す地域コミュニティ

地域特性

- 「水の森創造」をコンセプトに、武蔵野の原風景再現と、隣接する「南沢湧水地」の涵養地としての整備が進んでいる。
- 公園西側、および南側には住宅地や農地が混在し、地域住民の日常的な利用が多い。
- 小学校跡地という立地や、近隣に小中学校があることもあり、子どもたちの利用が多い。
(夏季に中学生の花壇ボランティア活動もある)

地域のコミュニティの核を復活させる取組

1 防災キャラバンin六仙公園 コロナ禍での地域防災力向上に貢献！

3-②No.11、3-③No.30 16-No.13,20,21,22,24,30

- ▶ 小学校跡地という立地特性を活かし、「防災」をテーマに、地域の主体がつながる「防災キャラバンin 六仙公園実行委員会」を今年度も継続実施。
- ▶ コロナ禍を災害と捉え、これまで培った連携を活かすべく、パークコーディネーターが関係者間を調整し、同実行委員会を毎月オンライン開催。
- ▶ 参加者が自宅のできる「おうちで防災」をFacebookなどで配信。(一社)防災教育普及協会の専門家が防災グッズや防寒の知識を得られるコンテンツ作成をアドバイス。



対面での打合せを避け、オンライン実行委員会を毎月開催



実行委員会が運営する「防災キャラバン」のFacebookページ



「おうちで防災」のコンテンツはFacebookなどで配信

- ▶ 地元ラジオ局「FMひがしくるめ」と連携し、防災をテーマにした番組「防災キャラバン」を始動。実行委員会メンバーがパーソナリティをつとめ、月1回の定期番組に！



「FMひがしくるめ」と実行委員会との連携で防災をテーマにした番組「防災キャラバン」を放送

「防災キャラバンin六仙公園実行委員会」構成団体

西武・武蔵野パートナーズ、東久留米市防災防犯課、東久留米市消防署・消防団、防災マーケットチーム

地域のコミュニティの核を復活させる取組

2 コロナ禍で賑わう公園でも安心・安全に！

3-②No.10、3-③No.3,32

16-No.20,22

▶ 園内11カ所の花壇を「六仙公園花ボランティア」と連携して管理。グリーンアドバイザーの資格を持つスタッフが技術サポートを行い、年間を通して公園が美しく彩られ、来園者にたいへん好評だった。

▶ 公園ボランティアと「パークモニタリングシステム」を継続。密な連絡体制で、コロナ禍で来園者が増えた状況でも、安心安全な公園づくりにつながった。



パークモニターカード

【参加型パークモニタリングシステム】

管理所のない衛星公園で、ボランティアなどに登録していただき、不法投棄などを発見した場合に管理所へ気軽に連絡できるようにしたシステム。登録していただいた方には、公園の連絡先を書いた「パークモニターカード」を配布している。

年間で、一年草約1,200株、宿根草約30株、球根約500球を植え付け！



美しく風格のある景観の保持

3 剪定による花壇環境改善と景観の保持を両立！

3-③No.11,46

16-No.5

▶ 花壇ボランティア「六仙公園花ボランティア」の要望を受け、花壇の日照等を確保するために高木剪定を実施した。剪定に際しては、周囲の景観にも配慮し、ぶつ切りにならないように透かし剪定を行った。剪定により日照時間の向上など花壇環境改善と共に、樹冠を意識した剪定により景観保持に繋げることができた。



樹冠を意識した透かし剪定を行うことで、要望に応えつつ、メインエントランスの景観を保つことができた



花壇に掛かる枝を切詰め、日照時間の改善と雨だれによる枯れ被害を予防

適切な維持管理を行うための取組

4

年3回の安全会議を開催！
安全作業を目指し、技術と意識の向上！

ALL Parks

3-③No.4 16-No.14,16

- ▶ 過去に実際に発生した事故内容を共有し、類似事故を起こさないよう安全意識を高めた。
- ▶ 機械整備士を講師に迎え、作業機械の整備手順を学び故障、事故の抑制を図った。



屋外で安全会議を実施



機械整備講習の様子

都民の健康増進への取組

5

公園で楽しく運動遊び！
親子スポーツ教室を開催！

3-②No.16,40,44,47,49,69,70,71 16-No.23

- ▶ スポーツコーディネーターがプログラムを熟考し、家でも親子で楽しく行える運動あそびを紹介。
- ▶ 走る、投げる、跳ぶといった基本動作を様々な用具を使って体感する教室を実施。ヘルシーパークとして都民の健康増進に寄与した。



全身を使って親子で一緒にジャンプ



様々な用具を使って運動遊び

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映

- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施

など